

二十歳の意見

「二十歳の集い実行委員」の皆さんが二十歳の意見を発表しました。



おかだ あきひと
岡田 章仁さん

コロナ禍という厳しい状況下において、安中市二十歳の集いを開催していただいた事をとてうれしく思います。

私は、コロナ禍で世の中が激しく移り変わる中で、その波に翻弄されないように生きるために、自分自身の人生の幸福を考える事と、自分の価値を自分で決める事が大切だと考えます。これらを意識する事で、変化の激しい時代でも平常心を保ち、自分自身を見失わないで生きていけると思います。

時代の流れに翻弄されないように、自分の人生を生きる事は、今まで育ててくれた両親や親戚、地域の方々への恩返しになると思います。自分自身の幸福や価値を常に意識し、日々達成感を感じながら生きていきたいと思っています。

心配するな。全部うまくいく。

本日は私たちの二十歳の集いを盛大に執り行って頂き誠にありがとうございます。この20年間、様々な経験を積んできました。そして、いつでも温かく見守って下さった先生や地域の方々、沢山の優しさと思いやりで私を支えてくれた友人、愛情たっぷりにここまで育ててくれた両親など多くの方々を支えられ沢山成長することが出来たと感じます。

新社会人として、両親をはじめ多くの方々から受けてきた愛情をより多くの方々にお返しし、沢山の期待に応えられるよう、精進して参りたいと思います。

最後になりますが、この式典を執り行うに当たってご尽力いただいた皆様、今まで沢山支えて下さった家族や先生方、友人、先輩後輩、多くの方々に感謝の気持ちを申し上げ、二十歳の意見とさせていただきます。



さかもと はるな
坂本 陽菜さん

コロナウイルスにかかった人が少数派ではなくなった今の世の中を誰が予想できたでしょう。公共の場でのマスク着用やライブ、イベント、大学のサークル活動等の小規模開催を我慢してきましたが、もう3年も経ってしまいました。

しかし、私たちがその当時最善の対応を決めており、この対応は現在も最善策だと思います。ただ、この事実によって我慢を強いられたものが大きすぎました。高校最後の思い出は小さく終わり、新しく歓迎される新入生、新社会人等の歓迎会も小規模になってしまいました。

しかし、様々な制限を受け入れざるを得なかった私たちが今を乗り越えたとき、コロナの影響がなかった時代に二十歳の集いを迎えた私たちと比べて、より成長できていると思います。

このようなコロナ禍の中で無事に今日を迎えることができ嬉しく思います。今まで私たちが育ててくれた家族や先生方、支えてくださった地域の皆様に深く感謝いたします。

私は生まれ育った安中市で様々なことを学び、経験しました。

まず、安中市の様々な取り組みを知ることができ、とてもやりがいを感じます。

次に、つらいときに気にかけてくれたり、相談に乗ってくれたりする職場の友人や先輩という素敵な人たちに出会えたことは人生の宝物です。

「おかれた場所で咲きなさい」という言葉がありますが、現代においては「咲ける場所を探す」ということが大切だと思います。環境によって自分の弱みを強みに変えることができると思います。



みかみ めい
三上 芽稲さん

私たちのために盛大な式典を挙行していただきまして誠にありがとうございます。私は安中市で充実した20年間を過ごしてきました。その中で多くの人に出会い、支えられながらここまで成長することができました。友人や先生方、地域の方々、そしてここまで育ててくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。

「二十歳」という大きな節目を迎え、新鮮なことばかりです。この先、私たちは各々の場所で様々な道を進むことになります。そして新たな出会いと経験を積み精進していきます。

最後になりますが、お世話になったすべての方へ感謝の気持ちを忘れず、そして私たちの人生がより素晴らしいよう努力することを誓い、二十歳の意見とさせていただきます。



▲今回も新型コロナウイルス感染防止対策として、入場者の検温や消毒液の設置、午前の部と午後の部の入れ替え時の消毒液散布などの対策を行いました。